

## 美術科 学習指導案

1 対象・日時 1年B組 令和3年2月19日(金) 1校時

2 本題材で育成したい資質・能力（評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①形や色彩，材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>②紙や用具の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫したり，制作の順序などを考えたりしながら，見通しをもって表している。</p>	<p>①感謝の気持ちを伝えるために，伝える相手や内容などから主題を生み出し，紙の特性やよさを生かしながら，分かりやすさと美しさなどとの調和を考え，表現の構成を練っている。</p> <p>②目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。</p>	<p>①美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感謝の気持ちを伝える相手や内容，紙の特性やよさを基に構想を練り，意図に応じて工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>②美術の創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3 題材「ありがとうを伝えるポップアップカード」について

本題材では，感謝の気持ちを伝えるポップアップカードを紙の特性やこれまでの学びを生かしながら試行錯誤を繰り返して表現したり，鑑賞したりすることを通して，表現と鑑賞に関する資質・能力を育成し，生活を豊かにする美術について考えさせたい。

また，一年の最後に感謝の気持ちを伝えるという題材を通して，生活の中の小さな喜びや幸せ，人とのつながりについて考え，この一年間を振り返る機会としたい。

本題材では，紙の特性や質感を捉えることができるように，紙は数種類用意し，ポップアップする部分を1か所以上つくることを条件として試行錯誤する時間を設ける。また，鑑賞では，市販のポップアップカードから形や色彩の工夫点やポップアップの構造について考え，その学びが表現につながるようにする。

4 生徒の学びの履歴

生徒は「絵文字」の学習において，レタリングについて学んでいる。身近な文字を比較し，文字の形の違いによるイメージの変化について考えたり，色彩による感情への効果について考えたりする活動をしている。「なべしき」の装飾では，限られた空間を美しく装飾する活動を行い，余白などについて考えた経験がある。水彩絵の具の使い方や技法も履修済みである。本題材では，伝える相手を想いながら，これまでの学びを生かして形や色彩や技法を工夫できるよう，客観的な視点も大切にしながら取り組ませるようにしていきたい。また，紙の特性やよさについても学ぶ機会となるようにしていきたい。

5 資質・能力育成のプロセス（8時間扱い）

次	時	評価規準 (丸番号は、2の評価規準の番号)	【 】内は評価方法及び Cと判断する状況への手立て
1	1	<p>知① 形や色彩，材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，全体のイメージで捉えることを理解している。(○)</p> <p>思② 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。(○)</p> <p>態② 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(○)</p>	<p>【行動・ワークシートの記述の点検】 C：ポップアップカードの形や色彩，全体のイメージから考えるように促す。</p> <p>【行動・ワークシートの記述の点検】 C：市販のポップアップカードを触らせ，ポップアップカードをもらった相手はどう感じるかを造形的な視点から考えられるように問いかける。</p> <p>【行動・ワークシートの記述の確認】 C：市販のポップアップカードを触らせ，カードを開いた瞬間の驚きや楽しさなどを感じさせ，興味をもたせる。</p>
2	2   7	<p>知① 形や色彩，材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，全体のイメージで捉えることを理解している。(○◎)</p> <p>技② 紙や用具の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫したり，制作の順序などを考えたりしながら，見通しをもって表している。(○◎)</p> <p>思① 感謝の気持ちを伝えるために，伝える相手や内容などから主題を生み出し，紙の特性やよさを生かしながら，分かりやすさと美しさなどの調和を考え，表現の構成を練っている。(○◎)</p> <p>態① 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感謝の気持ちを伝える相手や内容，紙の特性やよさを基に構想を練り，意図に応じて工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。(○◎)</p>	<p>【行動・ワークシートの記述・作品の確認】 【ワークシートの記述・作品の分析】 C：主題を確認させ，今までの学習や資料集などを確認させる。</p> <p>【行動・ワークシートの記述・作品の確認】 【ワークシートの記述・作品の分析】 C：紙や画材の特質を理解できるように，試させる。他の生徒の制作のプロセスを紹介する。</p> <p>【行動・ワークシートの記述・作品の確認】 【ワークシートの記述・作品の分析】 C：伝える相手の好みやカードを開けた瞬間に笑顔になるような工夫とはどのようなものか，客観的な視点で考えるように促す。</p> <p>【行動・ワークシート及び学習シートの記述・作品の確認】 【行動・ワークシート及び学習シートの記述・作品の分析】 C：紙を触らせ，質感から感じるイメージの違いなどを問い，紙への興味をもたせる。ポップアップの見本を用いてカードを開いたときの見え方をイメージさせながら，構想を練られるようにする。</p>
3	8	<p>知① 形や色彩，材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，全体のイメージで捉えることを理解している。(○◎)</p> <p>思② 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。(○◎)</p> <p>態② 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(○◎)</p>	<p>【行動・ワークシートの記述の確認】 【ワークシートの記述の分析】 C：作品の色や形，画材などからどのようなイメージが感じられるかを考えさせる。</p> <p>【行動・ワークシートの記述の確認】 【ワークシートの記述の分析】 C：作者がどのような相手に感謝の気持ちを伝えるために形や色彩などを工夫したのかを考えさせる。</p> <p>【行動・ワークシートの記述の確認】 【発言・ワークシート及び学習シートの記述の分析】 C：実際に作品に触れさせ，カードを開いて平面から立体が飛び出す面白さや作者の表現の意図について問いかけ，思考を促す。</p>

主たる学習活動	指導上の留意点	時
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間を振り返り、生活の中の小さな喜びや幸せ、人とのつながりについて考える。</li> <li>・学習シートで本題材の見通しをもつ。</li> <li>・本題材の学習課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【課題】</b> 一年間の感謝の気持ちを伝えるポップアップカードをつくろう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市販のポップアップカードを比較しながら鑑賞し、工夫点について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の中の小さな喜びや幸せ、人とのつながりを感じたことを考え、グループで共有させる。</li> <li>・本題材の学習の流れと、テーマ、目標を確認して、今後の活動に見通しをもって取り組めるように声をかける。</li> <li>・ポップアップの仕方が異なる数種類のポップアップカードを用意する。造形的な視点から工夫点について考えられるように促す。</li> </ul>	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販のポップアップカードやポップアップの見本、動画などを参考に、試行錯誤しながら構造について理解をする。</li> <li>・アイデアスケッチをする。</li> <li>・アイデアスケッチを見せ合い、客観的な視点からアドバイスし合う。</li> <li>・ポップアップする部分を1か所以上入れて、ポップアップカードを制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合いながら試行錯誤できるようにし、共有しながらポップアップの構造を理解できるようにする。</li> <li>・ポップアップの動画をStreamにアップロードして、必要に応じて見られるようにする。</li> <li>・マッピングや箇条書き、スケッチなどの様々な思考方法から選択して考えられるようにする。</li> <li>・文字ではなく、形や色彩で感謝の気持ちを伝えるように指導する。</li> <li>・立体的に考えられるように紙や用具を用意しておく。</li> <li>・今までの学習を振り返らせ、見通しをもって制作できるように支援する。</li> <li>・アイデアスケッチにコメントし、生徒が目標や見通しを振り返り、再考できるようにする。</li> <li>・紙は質感の異なるものを数種類用意する。</li> <li>・画材は水彩絵の具や色鉛筆、クレヨンなどを用意する。</li> <li>・意図に応じて表現方法を工夫できるように既習事項を確認したり、生徒の制作の様子をICTで共有したりする。</li> </ul>	2   7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの作品を鑑賞する。</li> <li>・今までの活動を通して、「文字を使わず形や色彩だけで表現されたカードでも豊かなコミュニケーションは可能か。それはなぜか。」を考え、対話をしながら自分の考えを深める。</li> <li>・今まで書き溜めてきた毎時間の付箋を見て、本題材において教科としての学びと、社会とのつながりの中で活用される汎用的なスキルの獲得状況についての自己の学びを振り返る。</li> <li>・制作したポップアップカードを送った相手から感想を聞き、Teamsにアップロードする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードは閉じた状態にしておき、開けた時の驚きや楽しさを味わえるようにする。造形的な視点から鑑賞するように促す。</li> <li>・問いについて対話をして、様々な価値観に触れさせる。他者との対話を通して、自分としての意味や価値をつくり出していけるように促す。</li> <li>・今までの学習を客観的に捉えさせ、生活や他の学習とつなげていけるように促す。</li> </ul>	8

## 6 学びの実現に向けた授業デザイン

### 【「学びに向かう力」が高まっている生徒の姿】

一年間を振り返り、感謝の気持ちを伝えるポップアップカードを、紙の特性や今までの学びを生かしながら試行錯誤を繰り返して制作したり鑑賞したりすることを通して、生活を豊かにする美術について考えている姿。

### 【「学びに向かう力」を高めていくための指導と評価の工夫】

#### ○観点別学習状況のあり方

##### 1. 「知識・技能」の指導と評価

本題材では、紙の特性やよさについて体験しながら学習できるようにしていきたい。紙は数種類用意することで、それぞれの質感を捉えられるようにする。また、ポップアップの構造について試行錯誤できる時間を設け、紙のかたさ、やわらかさ、しなやかさなどを実感的に理解できるようにする。鑑賞においては、市販のポップアップカードを用意し、そこから工夫点やポップアップの構造を考えさせる。その際、ポップアップの種類の異なるポップアップカードを用意して比較しながら考えられるようにする。作品の制作に入る前に、知識や技能が概念的に理解できているのかをワークシートや学習シートの振り返りの付箋から確認し、指導に生かす。評価は、作品から意図に応じて表現方法を工夫して表しているかなどを制作の段階と完成作品、ワークシートの中のコンセプトの記述から見取り、知識と技能を一体的に評価する。

##### 2. 「思考・判断・表現」の指導と評価

本題材では、主題を生み出せるように、マッピングなどの様々な方法で考えさせる。伝える相手がどのようなものが好きなのか、ポップアップカードを開いた瞬間に笑顔になるかなど、伝える相手のことを考えて構想を練るように促す。教師はアイデアスケッチの段階で、一人一人のワークシートにコメントをし、次の時間に向けて生徒がさらに思考を深められるようにする。また、対話的な学習の時間を確保し、客観的な視点を意識させながら学習に取り組めるようにする。評価は、アイデアスケッチの段階で暫定的に見取る。最終的には、主題や構想の工夫などを記述したコンセプト用紙や完成作品などと併せて評価する。鑑賞では、ポップアップカードの工夫点について造形的な視点から考えられるように声かけを行い、感じたことを共有する時間を設け、見方や感じ方を広げられるようにする。評価は、授業後にワークシートを分析して見取る。

##### 3. 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価

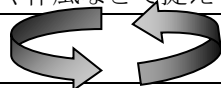
導入の段階で一年間を振り返る時間をつくり、生活の中の小さな喜びや幸せ、人とのつながりについて考えさせ、制作の意欲につなげていきたい。市販のポップアップカードを何種類か用意し、平面から立体が飛び出す面白さを感じられるようにする。ポップアップについてはグループで話し合いながら試行錯誤できる時間を設けて、構造について理解を深め、制作の不安を取り除き、学びを生かして自分で学習を調整していけるようにしたい。活動の様子や振り返りの付箋などを確認し、個別に声かけや全体共有を行い、自分の状況や学びについて考えられる機会を多くする。評価については、はじめの段階と完成間近の段階の活動の様子と作品、書き溜めてきた付箋とそのまとめから見取る。鑑賞では、ワークシートの記述と活動の様子から評価する。

#### ○「考えるための技法」を用いた言語活動の充実

数種類のポップアップカードを用意し、**比較**しながら考えられるようにする。ポップアップの構造について試行錯誤する時間をアイデアスケッチの前に設けることで、制作の順序を**見通して**考えられるようにする。

#### 【本題材での指導事項】 ※（既習）は既習事項

- ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。（A表現(1)イ(イ)）
- ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。（A表現(2)ア(ア)）
- ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。（A表現(2)ア(イ)）
- ・目的や機能との調和のとれた美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。（B鑑賞(1)ア(イ)）
- ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。（共通事項(1)ア）
- ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。（共通事項(1)イ）



#### 【本題材における、総合的な学習の時間（TOFY）とのつながり】

- ・本題材の見通しをもって活動を行う力は、TOFYの課題を発見し、解決していこうとする時に役立つと考えられる。